

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公開番号】特開2010-17765(P2010-17765A)

【公開日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-46289(P2009-46289)

【国際特許分類】

B 3 0 B 11/08 (2006.01)

B 3 0 B 11/00 (2006.01)

【F I】

B 3 0 B 11/08 F

B 3 0 B 11/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月17日(2012.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

上向噴射ノズル N U 側の帯電装置 C D に接続したスイッチ S W も、図示はしないが、同様の構成を有する。但し、前記パルスは、前記白孔 4 1 の下向噴射ノズル N B 直下通過の開始時刻から終了時刻までの時間帯 T 0 でなく、前記上杵 5 の下端部の上向噴射ノズル N U 直上通過の開始時刻から終了時刻までの時間帯だけ発振されるようにしている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

このような構成において、粉末滑沢剤 L を噴射するにあたって、粉末滑沢剤噴射装置 L S の電源が投入されると、白孔 4 1 の下向噴射ノズル N B 直下通過の開始時刻から、白孔 4 1 の下向噴射ノズル N B 直下通過の終了時刻までの時間帯において、下向噴射ノズル N B 側の電極 E D は上杵 5、下杵 6、白 4 及び回転盤 3 に対して負の高電位となり、下向噴射ノズル N B から噴射される粉末滑沢剤 L は負に帯電する。また、上杵 5 の下端部の上向噴射ノズル N U 直上通過の開始時刻から、上杵 5 の下端部の上向噴射ノズル N U 直上通過の終了時刻までの時間帯において、上向噴射ノズル N U 側の電極 E D は上杵 5、下杵 6、白 4 及び回転盤 3 に対して負の高電位となり、上向噴射ノズル N U から噴射される粉末滑沢剤 L は負に帯電する。一方、その他の時間帯においては、粉末滑沢剤 L は帯電しない。そして、前記パルスは、回転盤 3 の回転数の逆数を白 4 の個数で割った長さの時間である所定時間 T 1 間隔で発振される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

同様に、前記上向噴射ノズルNU側の帯電装置CDに接続したスイッチSWが、上向噴射ノズルNU直上に1つの上杵5の下端部が達してから上向噴射ノズルNU直上に次の上杵5の下端部が達するまでの間隔でパルスを発するパルス発生機構SW1と、このパルス発生機構SW1からパルスが出力されている時間帯にのみ前記帯電装置CDに通電させるスイッチ本体SW2とを具備するので、上向噴射ノズルNU直上に次の上杵5の下端部が存在する時間帯にのみ帯電装置CDに通電するスイッチSWを容易に実現できる。